

## 日本映画衛星放送株式会社 第19回番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 平成21年6月9日(火) 15時~16時
2. 開催場所 : 東京都江東区青海2-43  
株式会社ジェイ・スポーツ・ブロードキャスティング内 大会議室
3. 委員の出席 : 委員総数7名 / 出席委員数7名  
出席委員の氏名(敬称略) ; 今村昭(石上三登志)・菊地実・坂井保之・曾根和子・田保橋淳・  
鳥居美砂・西正  
放送事業者側出席者氏名 ; 常務取締役 酒井彰  
編成部副部長 澤尚志・編成部 藤井理子  
番審担当 高岡幸代(記)

4. 議題 : 日本映画専門チャンネル「特集関連スペシャル番組」について

5. 議題の概要 :

各月の編成で特集した監督、作品等について関連するスペシャル番組を制作することがあるが、昨年9月以降に制作放送されたものの中から、少しずつコンセプトを違えた3本の「特集関連スペシャル番組」について、このような編成のあり方、番組のあり方について審議を行う。

事前に制作番組「監督 五所平之助の人と仕事」「ゴジラが来る!」「市川準 CM作品集」のVTRを送付し、ご視聴いただいたうえで審議を行った。

6. 審議内容 :

「監督 五所平之助の人と仕事」について

<審議委員意見>

- ・ ロケが多くて、どの風景もなつかしい。記録性が出ているのではないか。番組のまとめ方も非常に適切で大変感心している。
- ・ 若い頃はあまりこのような映画は見なかったが、今見るとほんわかしてよい。情緒が出ている。番組としてまとめて見せる姿勢が日本映画専門チャンネルならではの。
- ・ 時代や作品が分からなかったので、かわいそうな女性を描かせたら上手いという割には紹介された映画とうまく繋がらなかった。
- ・ 五所監督はロケーションが多いという事を聞いて映画を見ると勉強になる。五所監督が俳人であったため映画が俳句的で日本的情緒がある。
- ・ 落ち着いた構成で監督の作品はこういう感じなのかな?という作りになっていたと思う。

<事業者回答>

映画評論家の客観的な視点、実際に一緒に作品を作ったスタッフの視点、そして、その作品が今の映画にどう生きているのかという視点。以上3つの視点を入れてオーソドックスに作ったが、強い批判的なメッセージを入れればもっと面白い番組になるのかもしれない。

## 「ゴジラが来る！」について

### < 審議委員意見 >

- ・ 五所監督の映画もゴジラもその時の現実に則して作っている。現在に繋がるように何らかの形で訴えていくのであれば、いくらでも素材があるので面白い事が出来る。
- ・ 60 分の番組であれば、現場の方の意見をもっとしゃべってもらった方が、良かったのではないか。作り方自体は悪くない。ゴジラ全作品を放送するのは凄い。
- ・ ゴジラは堂々とした市民権を名前として残した。それぐらい国民の中に入ってきた。そういう映画を振り返ってご覧になりませんか？というアプローチはそれなりに面白い。
- ・ 全 29 作品を放送するだけでたいしたものである。タイトルの割には講義になっていた。まじめだったので、もっと軽い方が良かったのではないか。
- ・ もう少しゆるく楽しい感じかと期待していたが、ゴジラの文化論みたいになっていた。

### < 事業者回答 >

ターゲットをどこに定めるか大変悩んだ。ゴジラの完全放送は既に放送しているが、今回ハイビジョンになって一番喜ぶのは誰なのかと考えコアファンにターゲットを絞った事で文化論の内容になってしまった。

## 「市川準 CM 作品集」について

### < 審議委員意見 >

- ・ 世代が違うのであまり分からない。現実の映画というのは、切実な現実に則して今に繋がる何かがないといけない。その時その時の現実みたいなものをもう少し真剣に捉えて頂きたい。
- ・ 解説で市川監督の持っている世界が初めて分かった。CM と映画の世界は違うので、その辺の解説がもう少しあっても良かったのではないか。大変良い企画で感心した。
- ・ シリーズをまとめてみると、市川監督の CM を見たというより、出演していた俳優さんのひとつのドラマみたいなものを見たようで面白かった。
- ・ 特集が CM だけだったが、市川監督の映画を見た事がないので映画の映像との関連性みたいなものを、ちょっとでも見せてもらえれば良かったのではないか。
- ・ 亡くなった時の報道で映画監督として紹介されていたが、彼の原点は CM だと思う。世の中の見方として、映画が一流で CM が二流という傾向がある。このような特集は大感激である。
- ・ 地上波で CM 特集は難しいだろう。見たいと思ってもなかなか見られないが、映画監督という切り口であれば見ることが出来るので、良いコンテンツになるのではないか。

### < 事業者回答 >

市川監督は CM ディレクターとしても有名なので、CM を切り口にした。チャンネル独自の企画にしたかったので、CS でしかなかかなか出来ない企画であると思い、色々な CM 作品の交渉にあたったが、権利処理が非常に困難だった。権利的な面でも非常に勉強となった企画である。反省点としては、CM 作品集をやろうという事が第一となってしまう、特典映像的なところで完結してしまった。今後こういう特集を企画する時には、もっとプラスアルファ考えていきたい。

## 7. その他の参考事項：特になし

以上